

## 館蔵資料紹介 No.16

## 『医学部分館のAV資料』

植松俊彦

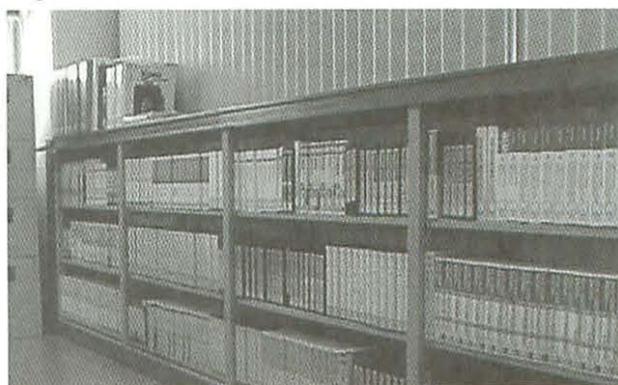
医学部においては、その教育改革として導入した「テュートリアル教育」がこの4月で順調に3年目を迎えた。本教育システムにおいては少人数教育と学生自身による自学自習の重視をその柱としている。自学自習とはいっても、その目的のために学生に提供できる講義室・テュートリアル室や分館の閲覧室等はスペース的にも内容的にも十分とはいえない現状であるが、テュートリアル教育の導入・運営に当たって各テュートリアル室に学内LANで繋がるパソコン1台と必要最低限と思われる教科書を各一冊ずつ備え付けるべく学内一体となって努力を行ってきた。同時に医学部分館としても、移転へ向けたメディカルメディアセンター（MMC）構想や附属図書館の電子化の推進という全学的な方向性に沿って、その電子資料充実の一環と位置づけられるCD-ROM化された資料やビデオなどAV資料の収集を行いつつ、それらのテュートリアル教育への活用も図っている。これら資料は文字どおり学生の自学自習のための教材として役立つことが期待されると共に、テュートリアル教育のための電子化教材を作成する教官側にとっても有用なツールを提供されている。そしてこれらは医学部のみならず全学共通教育の「医療と生命」や「細胞生理」、「生体防御」などの学習教材として、更に生命工学やバイオ関連分野などの研究を目指す学部学生のための基本的な教材として、十分に活用いただけるものと考えられる。よって本稿においては、医学部分館に現在どのようなAV資料が所蔵されているのか、その利用方法は、といった点を紹介し、これら資料が多方面から活用される契機となることを期待するものである。

## ビデオ・レーザーディスク(LD)資料 (3階閲覧室)

3階閲覧室には2台の一体型ビデオ付きテレビとCD/LDコンパチのプレーヤー+モニター1式が備えられている。1階のカウンターで使用簿に記載すると共にヘッドホンとリモコンを借り受けて閲覧する。

ビデオ「目で見る」シリーズは「医学の基礎 全17巻」「身体のしくみ 全14巻」「生化学入門 全5

巻」「薬理学入門 全16巻」「病気 全20巻」「病理標本の作り方 全2巻」「新しい臨床検査 全15巻」「新しい運動生理学 全6巻」と基礎医学としての解剖学・生理学・生化学・薬理学・病理学から臨床検査医学までを網羅し充実している。臨床医学教育のためには「診断学教育ビデオシリーズ 全10巻」、手術・治療手技の供覧のためには「緊急重症患者のケア 全8巻」「脳神経外科手術エキスパートシリーズ 全5巻」「大腸内視鏡検査・診断・治療 全4巻」など、臨床に必要な基礎医学としては「消化器外科手術のための解剖学 全6巻」「Sanna Surgical Anatomy 全10巻」などが用意されている。筆者の専門である薬理学について言えば、テュートリアル教育となって従来行っていた動物実験による薬理学実習を大幅に削る必要があり、それを補完するため、「実験動物の取扱い：サル類編；マウス・ラットその他の小動物編；モルモット・ウサギ編；イヌ・ネコ編」は「目で見る薬理学入門」と同様に大変有用な自己学習用教材となっている。前者は“飼育管理と取扱い”と“動物実験手技”の各全2～3巻よりなり、動物実験を初めて行う研究者にも必見である。後者は“薬物はなぜ効く？”に始まり、心臓薬・代謝障害治療薬・高血圧薬・向精神薬・中枢神経作用薬・呼吸器作用薬・消化器作用薬・抗炎症薬・抗感染薬・抗腫瘍薬・内分泌作用薬・末梢神経系作用薬・血液疾患用薬と主だった薬の基本的薬理作用や作用機序がきれいなCGイラスト・アニメーションで分かりやすく解説され、テュートリアル「薬理・中毒コース」で活用されている。



ビデオ「CT像の読み方」「X線像の読み方」は画像診断の基本が分かりやすく解説されている。例えば上部消化管編では早期胃癌発見のための微細病変を見逃さないX線写真の撮影手順と検査手技が解説されていると共に、微細病変のX線写真のライブラリーともなっており、幅広く利用できる。「医工学治療レクチャー 9-25巻(1-8巻は絶版)」は、技術革新のテンポからすれば既に古くなった感否めないが(1990年刊)、治療現場で計測・診断に応用されている工学の知識・技術を解説したものであり工学技術の医学への応用・転用を目指す場合の指針となり得る。「医学情報の達人 全4巻」は医学文献の検索法から学会プレゼンテーションの方法まで医学情報の探し方から活かし方までを紹介している。その他の主な収蔵資料を表1に掲げる。

表1 その他のビデオ/LD資料

ビデオ	生命倫理を考える 全8巻 看護のためのアセスメント 全12巻 先天性心疾患のための刺激伝導系 全5巻 循環器基本診察のコツ 全4巻 誤信しやすい類似症状のチェックポイント 全5巻 グラフィックブレイン 全7巻 ビデオ医学用語講座 全3巻 ビデオ医学英語入門 全12巻 医療従事者のためのAIDSの知識 全2巻 AIDS 全2巻 など
LD	Slice of brain 1 Hematology Human light microscopy 2 The digital anatomist Atlas of gross pathology Normal human anatomy Transthracic echocardiography Transesophageal echocardiography 皮膚疾患と全身的背景 など

ビデオ/スライド資料(3階視聴覚室)

視聴覚室にはUマチック方式とベータ方式のビデオと各モニター(それぞれ2セット、1セット)が備えられていて、1階カウンターで利用簿に記載すると共に部屋の鍵を借りて入室する。



ビデオ資料としては「現代臨床医学体系ビデオ版全11巻」、「Medical skills library 全9巻」他、そのビデオの方式から分かるように既に年月が経過しているが、前者は胆石症・胃癌・消化性潰瘍・食道癌などの外科を中心にその他救急蘇生法・胃のX線診断など現在でも十分に通用するものであるし、後者は腰椎穿刺・気管内挿管・静脈切開など医師として必要な基本的手技が中心であり利用を薦めたい。スライドには「骨髓生検」「腎生検」「癌細胞図譜」「細胞診断図譜」など充実している。

CD-ROMなど(1階事務室)

「Current Content 1995-1997」「医学中央雑誌1987-1991」「Journal Citation Report 1994-1996」の他「A.D.A.M.(人体解剖学図譜)」、「Interactive atlas of human anatomy」、「副作用症例データベース」、「皮膚病診断カラーアトラス」、「Cardiovascular system 1-3」、「鼻内副鼻腔手術」などのCD-ROMが収蔵されている。その他「CDによる聴診トレーニング呼吸音編/心音編」などCDや外国人の診察のためや医学会話のためのテープ、その他スライドなどの資料がある。

日進月歩の医学にあつて、これらAV資料のupdateを如何に行っていくかは、いずれも高価であることや供給側の対応の問題などがあり難しい問題である。又、ビデオ・プレーヤー+モニターのセット数も少なくスペースも狭いなど一度に利用できる人数も極めて限られる。しかし、3階視聴覚室に収蔵されているビデオはここ1~3年の間に導入された比較的新しい資料であり、今後十分に活用されることを期待したい。

(うえまつ としひこ:医学部教授)